

立川基地

「防災基地」から軍事基地へ



写真 左)基地内で墜落・大破したUH1ヘリ(2019.6)

右)立川基地で目撃された野戦訓練(2020.2)

立川市の中心部にある陸上自衛隊立川基地で、これまでにないことが起きています。2019年には基地内でヘリコプターが墜落。2020年には、迷彩にライフルをもった自衛官が野戦を想定した訓練を行いました。日米安保の変化による自衛隊の実戦部隊化の影響でしょうか? 「防災基地」の建前を踏み外した立川基地の現在をレポートします。(2020年11月)

発行 立川自衛隊監視テント村 立川市富士見町 2-12-10-504 042-525-9036/524-9863

WEB ■ <http://tachikawatento.sakura.ne.jp/>

MAIL ■ tento72@yahoo.co.jp

変貌する立川基地

陸上自衛隊立川基地は、都内唯一の滑走路のある陸上自衛隊のヘリ基地です。

砂川闘争の結果1977年に撤退した米軍にかわり、市をあげての反対運動を押し切って自衛隊が基地の主になりました。

関東、そして全国の自衛隊ヘリが飛来し、整備や訓練を行っています。

1980年代には市民感情を考慮して、「広域防災基地」として整備が進みました。しかし今、立川基地では露骨な戦争訓練が行われるようになり、周辺住民の生活に悪影響を与えています。

■陸上自衛隊立川駐屯地■

総面積:84.4 ha(東京ドーム18個分)

滑走路:900m(オーバーラン含め1200m)

総人員:約600名 所属機:UH1・OH1など

所属部隊:陸自東部方面航空隊、第1師団飛行隊など

【立川基地の騒音などの抗議先】

→立川基地 042-524-9321

→立川市企画政策課(基地担当) 042-528-4302

※市に寄せられた苦情・抗議は基地に伝えられます。
毎年件数もカウントされています。

あいつぐヘリ事故

2019/6/21 立川基地所属のUH1機が緊急着陸訓練中に基地内で墜落・大破

2020/5/13 立川基地所属のUH1機が訓練飛行中にヘリ部品を基地内に落下させる

2020/6/3 立川基地所属のUH1機が相模原市内上空を訓練飛行中、帽子を落下させる

2019年の墜落事故は、故意にエンジンを停止させて緊急着陸をころみるという危険な訓練のさなかに起きました。立川基地は滑走路が短いため、訓練が基地の外で行われていた可能性もあります。

立川基地は住宅密集地にあり、本来飛行訓練を行っていい基地ではありません。

深刻な騒音被害

●年間騒音回数 6932回(2018年度)
7668回(2017年度)
(砂川学習館騒音計測定)

●2019年の最大騒音(Lden)値
60.1db(砂川学習館)
57.6db(立川4小)

※東京都が定める「住宅地環境基準」は57db

●「飛行高度違反」が続発！

2010年、武蔵村山市の調査の結果、立川基地と地元自治体が1982年に結んだ「飛行高度に関わる協定」(1500フィート以上を飛行など)をほとんどの立川基地のヘリが守っていないことが明らかになっています。

半世紀におよぶ「ごまかしの歴史」

砂川闘争に勝ったのに、

なぜ基地が？

立川基地の歴史は、戦前の日本軍飛行場から始まります。「首都防衛」の要として作られた立川飛行場は、戦後、米空軍のものとなりました。

核兵器を搭載できる大型爆撃機が利用できるように、米軍は立川基地の滑走路の延長を計画。1955年から現在の砂川地域を東西に分断する形で基地拡張のための買収工作がつけられました。

砂川地域の住民は「基地拡張反対同盟」を結成。労働者や学生の支援も受けながら、14年間にわたる闘いをつづけ、1969年基地拡張計画は撤回されました(砂川闘争)。米軍も横田などに移転します。

しかし国は、都内の航空基地を諦めませんでした。1972年、当時の市民の82%が反対し、市長自らが反対デモに参加するなか、自衛隊が空から移駐しました。国は「三年間の暫定利用」としましたが、その約束は反故にされ、自衛隊の居座りが続きました。

市は基地の無い「基地跡地平和利用計画」などを作って対抗しましたが、自衛隊の残留が決定。1982年、現在の立川基地が開設されました。この時、国がつくった理屈が「首都圏災害のための広域防災基地」というインチキでした。軍事基地の性格を隠せば市民の理解も得られやすいという姑息なやり口でした。

その後、基地は関東地方における自衛隊ヘリ部隊の中核基地として機能し、航空自衛隊の輸送機C1ジェットの訓練も数年前まで毎月実施されました。

滑走路が短く、周囲を住宅に囲まれた基地でのC1機の訓練は、全国でも立川だけでした。

基地の面積は最大時の5分の1となりましたが、現在でも立川市の中心に居座りをつづけ、市民の生活に大きな影響を与えています。



米軍基地拡張を阻止した砂川闘争 (1955年)



自衛隊移駐反対デモを伝える新聞(1972年)



富士見町上空を飛ばすC1輸送機



立川基地防災航空祭での編隊飛行

自衛隊オスプレイは 立川基地に飛来するな

今年7月、コロナ禍のなかひっそりと、陸上自衛隊のオスプレイが木更津基地（千葉県）に配備されました。30万筆を数えた反対署名は、国に無視されました。

オスプレイは3600億円をかけて、17機が自衛隊に導入される予定です。

木更津基地のへりは、ひんぱんに立川基地での訓練を行っています。国は、1500mの滑走路がない基地にはオスプレイは着陸させないと説明してきました。900mの滑走路しかない立川基地での運用は許されません。

横田基地上空を飛ぶ米空軍オスプレイ



2016年 沖縄県で墜落したオスプレイ

【日本のオスプレイ】

- 2012年 米海兵隊オスプレイ 沖縄・普天間基地に配備
- 2013年 日本政府 自衛隊へのオスプレイ導入に着手
- 2014年 和歌山県の防災訓練で米オスプレイが芝生を焼く
政府 佐賀空港への配備要請。地元との交渉難航
- 2016年 沖縄県名護市で米オスプレイが墜落
- 2018年 横田基地に米オスプレイ5機配備
- 2020年 木更津基地に自衛隊オスプレイ2機初配備

立川基地撤去を求める声をともにあげましょう

Voice for Peace ?



5月に行われる立川反基地駅伝大会



毎月市内で行われるデモ

立川自衛隊監視テント村では、月に一度立川駅周辺をまわる月例デモ「C1 デモ」や、砂川での各種イベントなどを開催しています。興味のある方はぜひご連絡ください。